

物語を読んで、感想文を書こう。
めあて

学習の見通しをもとう。

●初発の感想を書こう

●感想文を書くときに、むずかしかったこと

- ・何から書いていいのか分からない。
- ・文章をたくさん書くことができない。

●学習の流れ

時	月日	学習内容
①	/	学習の見通しをもつ。
②	/	物語の内ようを読み取る。
③	/	三つのお願いをくらべながら、内ようを読み取る。
④	/	会話や行動から登場人物のせいかくを読み取る。
⑤	/	表げんのくふうに目を向けて読む。
⑥	/	書き方のくふうを見つける。
⑦	/	組み立てを考え、自分の考えをはっきりさせて「初め」「中」を書く。
⑧	/	組み立てを考え「終わり」を書き、表げんをくふうしてしあげる。
⑨	/	友達と感想文を読み合い、よいところを見つける。

●感想文を書くための三つのコツ

コツ一 物語の(内よう)を読み取る。

コツ二 「初め」「中」「終わり」の(組み立て)で書く。

コツ三 思ったことや感じたことを表す(言葉)を使う。

【1 / 9 時間目 指導路案】 使用するワークシート「三つのお願い」①・原稿用紙1
本時のねらい

学習の見通しをもたせるとともに、感想文を書くという活動に意欲をもたせる。

1 教材文を読んで、初発の感想を書く。

- 教師の範読を、教科書を目で追わせながら聞かせる。
- ※ 「国語指導CD」を活用してもよいです。
- 初発の感想を書かせる。(原稿用紙1)
- 題名も付けさせる。
- ※ 原稿用紙を配り、書く時間(二十分間)を伝えて書かせます。
- ※ あまり書けない児童やあらずじばかり書く児童などいると思いますが、書く時間内で終わります。

2 これまでに読書感想文を書いた経験を交流する。

- これまでの学習経験を振り返り、読書感想文を書くときに難しかったことを発表させる。

3 学習の流れを確認する。

- 「物語を読んで、感想文を書こう」という単元の学習課題を知らせる。
- ワークシート①を配り、記名させる。
- 本時のめあてを知らせる。
- 学習計画表(ワークシート①を拡大したもの)を提示する。
- ※ 学習の最後には、初発の感想を感想文と比べて技能の向上を確かめることを知らせ、期待をもたせるようにします。

4 感想文を書くための三つのコツを知る。

- 三つのコツ(ワークシート①を拡大したもの)を提示し、()に入る言葉を学級全体で考えながら記入させ、感想文を書く見通しをもたせる。
- ※ 三つのコツ(ワークシート①を拡大したもの)は、本時のめあてを確かめるために、これから毎時間提示します。

評価 物語に興味をもち、学習に取り組もうとしている。(関)

5 本時の学習の振り返りをして、次時の学習について見通しをもつ。

- ワークシート①で自己評価をさせる。
- 次時は、感想文を書くための[コツ]を学習していくことを知らせ、ワークシート①で確かめさせる。

物語を読んで、感想文を書こう。
めあて

物語の大体の内ようを読み取ろう。

●感想文を書くための三つのコツ

コツ一 物語の内ようを読み取る。

コツ二 「初め」「中」「終わり」の組み立てで書く。

コツ三 思ったことや感じたことを表す言葉を使う。

●「だれが」「どんなことをしたか」

いつ(時) 一月一日

どこで(場所) 友達のビクターとさんぽのとちゅう

だれが(登場人物)

- ★ ゼノビア (ノービー)
- ★ ビクター
- ★ ママ

何が起こった(出来事)

一月一日に自分の生まれた年の一セント玉を拾うと三つのお願いがかなうという言い伝えが、本当にゼノビアに起こった。

どうなった(結末)

親友とけんかしたが、なかなかおりました。三つのお願いがかなった。
「どんぴしゃり。お願いがかなった。」

【2 / 9時間目 指導略案】 使用するワークシート「三つのお願い」②
本時のねらい

「読む視点」に沿って読ませ、物語の内容を捉えさせる。

1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確かめる。

- 感想文を書くための三つのコツを押さえる。
- ワークシート②を配り、記名させる。
- 感想文を書くために、コツ一 物語の内ようを読み取る。ことを知らせる。
- ※ 提示物コツ二に印を付けると児童にも分かりやすいと思います。
- 感想文を書くためには、しつかり内容を読み取ることが大切であることを知らせる。
- 本時は、物語の大体の内容を読み取っていくことを知らせる。

2 物語を読む視点を確かめる。

- 物語の内容を捉える際の視点を思い出させ、発表させる。
- ※ 児童は、これまで、物語を読む際には(時・場所)(登場人物)(出来事)(結末)を捉えることなどを繰り返し学習してきました。
- 教科書五十四ページ上段の手引きを参考に、視点を確かめさせる。

3 「三つのお願い」を通読する。

- 視点に沿って読ませるために、黙読させる。

4 視点に沿って読み取ったことをワークシート②にまとめる。

- どの記述で分かるのか、発表させて確かめさせる。
- ここで確かめた視点が、感想文を書くときに生かせることを知らせる。
- 三つのお願いのそれぞれの内容については、次時に学習することを伝える。

評価 「読む視点」に沿って読み、物語の内容を捉えている。(読ウ)

5 本時の学習の振り返りをして、次時の学習について見通しをもつ。

- ワークシート②で自己評価をさせる。
- あらすじだけでは感想文にならないことを押さえ、自分の考えや体験を書き加えていくために、次時はそれぞれのお願いについて詳しく読んでいくことをワークシート①で確かめさせる。

物語を読んで、感想文を書こう。

めあて

三つのお願いをくらべながら、物語の内ようを読み取ろう。

●感想文を書くための三つのコツ



コツ一 物語の内ようを読み取る。

コツ二 「初め」「中」「終わり」の組み立てで書く。

コツ三 思ったことや感じたことを表す言葉を使う。

3つ目	2つ目	1つ目	
一番大切な友達ビクターにもどってきてほしい。	ビクターに帰ってほしい。	この寒さ、なんとかならないかなあ。	どんなお願いか
ビクターが、ここにこしながらすごいいきおいで走ってきた。	ビクターは、コートをつかんで、表へかけ出した。	ひよいとお日様が顔を出した。	結末はどうなったか

にているところ

・一つ目と二つ目は、よく考えずにたまたま言ったことが、その通りになった。

ちがっているところ

・三つ目は、ノービーが本当に願ったことが、その通りになった。

【3 / 9時間目 指導略案】 使用するワークシート「三つのお願い」③
本時のねらい

「読む視点」に沿って読ませ、物語の内容を捉えさせる。

1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確かめる。

○ 感想文を書くために、**コツ一** 物語の内ようを読み取る。ことを押さえる。

※ 提示物**コツ一**に印を付けると児童にも分かりやすいと思います。

○ ワークシート③を配り、記名させる。

○ 本時は、三つのお願いを比べながら内容を読み取っていくことを知らせる。

2 物語を読む視点を確かめる。

○ 三つのお願いそれぞれのお願いはどんなお願いで、その結末はどうなったかを読み取っていくことを知らせる。

3 「三つのお願い」を通読する。

○ 視点に沿って読ませるために、黙読させる。

4 視点に沿って読み取ったことをワークシート③にまとめる。

○ 三つのお願いについてまとめる表（ワークシート③を拡大したもの）を提示する。

○ まとめたことを発表させ、それぞれのお願いに関わる場面を確かめさせる。

5 三つのお願いを比べて、似ているところや違うところがあるか考える。

○ ここで確かめたことが物語の内容の理解に役立ち、感想文を書くときに生かせることを知らせる。

評価 「読む視点」に沿って読み、物語の内容を捉えている。（読ウ）

6 本時の学習の振り返りをして、次時の学習について見通しをもつ。

○ ワークシート③で自己評価をさせる。

○ 登場人物の性格を知るために、次時は登場人物の会話や行動に目を向けて読んでいくことを伝える。

○ ワークシート①と教科書五十四ページ下段の手引きを読み、確かめさせる。

物語を読んで、感想文を書こう。
めあて

会話や行動から登場人物のせいかくを読み取ろう。

●感想文を書くための三つのコツ



コツ一 物語の内ようを読み取る。

コツ二 「初め」「中」「終わり」の組み立てで書く。

コツ三 思ったことや感じたことを表す言葉を使う。

ノビー

短気 ↑ ちよつとしたことですぐにおこっているところ。

思ったことをすぐ口にする ↑ よく考えずにお願いを言っているところ。

そそっかしい ↑

さびしがりや ↑ 「さびしいよ。もどつてきてくれないかな。」

少し意地悪 ↑ 「ここにいってほしくない。帰つてよ。」

すなお ↑ ママの話を聞いたあと、すぐ自分のこととして考

えている。

ピクター

思いやりがある ↑ 「運がいいぞ。ついでいるじゃないか。」

人がいい ↑ 「ここにしながら、すごいいきおいで走

やさしい ↑ ってきた。

れいぎ正しい ↑ 「おじやまします。」

ひみつを守る ↑ ひみつをほかの人に話したりしないし。

ママ

友達を大切にする ↑ 「いちばん大切なものは友達だもの。」

かんがいい ↑ 「何かあったの。」

※児童の発言に合わせて板書します。

【4 / 9 時間目 指導略案】 使用するワークシート「三つのお願い」④（その1・その2）
本時のねらい

会話や行動に着目して読ませ、登場人物の性格を捉えさせる。

1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確かめる。

○ 感想文を書くために、「コツ一」物語の内ようを読み取る。ことを押さえる。

※ 提示物「コツ二」に印を付けると児童にも分かりやすいと思います。

○ ワークシート④（その1・その2）を配り、記名させる。

○ 登場人物の性格をよく知るために、会話や行動に注意して読むことを知らせる。

※ 四年上「白いぼうし」・四年下「ごんぎつね」で、登場人物の会話や行動に注意して読み、性格について考えたことを思い出させます。

2 「三つのお願い」を通読する。

○ 会話や行動などに気を付けて音読させる。地の文にも注意させる。

※ 登場人物の性格が分かるところに、サイドラインなど印を付けさせるとよいです。

3 人物ごとの性格をワークシート④その1にまとめる。

※ 教科書（上）百三十二ページの人物に対する言葉を参考にさせるとよいです。

4 人物ごとに性格を発表する。

○ それぞれの叙述からそのように考えたのか根拠とともに発表させる。

○ 他の人の意見でも、書き加えてよいことを知らせる。

5 登場人物と自分とを比べ、登場人物と似た自分の体験についてワークシート④その2にまとめる。

○ ワークシート④その2を配布し、記名させる。

○ 教科書五十四ページ下段の手引きを読ませ、ワークシート④その2に書かせる。

※ 感想文を書くときにメモとして利用させるので、ここでは一、二文で書かせます。

※ 自分と比べながら読むことで、感想がふくらむことを伝えます。

※ 時間があれば、まとめて書いたことを何人かに発表させます。

評価 会話や行動から人物の性格について考え、整理している。（読ウ）

自分の体験と結び付けながら、物語の叙述を引用したり要約したりして、自分の思いをまとめていく。（読エ）

6 本時の学習の振り返りをして、次時の学習について見通しをもつ。

○ ワークシート④その2で自己評価をさせる。

○ ワークシート①で次時の学習内容を確かめさせる。

物語を読んで、感想文を書こう。

めあて

表げんのくふうに目を向けて読もう。

●感想文を書くための三つのコツ



コツ一 物語の内よよを読み取る。

コツ二 「初め」「中」「終わり」の組み立てで書く。

コツ三 思ったことや感じたことを表す言葉を使う。

くふうして書かれているところ

●地の文が、(ノービイ) によって語られている。

●ノービイが話して聞かせてくれているような感じ。

●地の文にも、ノービイのせいがかくが出ている。

●自分がノービイになったような気分になる。

●ノービイのせいがかくが表れるように、音読してみよう。

●自分がノービイになったような気持ちで読めた。

●ノービイと友達みたいに感じた。

●前より、ノービイになりきって読むことができた。

※児童の発言に合わせて板書します。

【5 / 9 時間目 指導略案】 使用するワークシート「三つのお願い」⑤
本時のねらい

物語の表現の工夫に気付かせ、それについて自分の考えをまとめさせる。

1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確かめる。

○ 感想文を書くために、**コツ一** 物語の内よよを読み取る。ことを押さえる。

※ 提示物**コツ二**に印を付けると児童にも分かりやすいと思います。

○ ワークシート⑤を配り、記名させる。

○ 本時は、物語の表現の工夫に目を向けて読んでいくことを知らせる。

2 物語の表現の工夫を捉える。

○ どんな表現の工夫があるかを考えさせながら、全文を役割読みさせる。

○ 工夫して書かれていると思うところを発表させる。

※ 答えが出ない場合は、既習の物語(「ごんぎつね」など)と比べさせます。

○ 地の文がノービイによって語られていることから、どんな印象を受けるか、ワークシート⑤に自分の考えを書かせる。

○ 書いたものを発表させ、一人一人の感じ方の違いに気付かせる。

※ ペアや三々五人のグループで感想を伝え合った後、学級全体に広げてもよいでしょう。

○ ペアや三々五人のグループで感想を伝え合った後、学級全体に広げてもよいでしょう。

3 ノービイの性格が表れるように、音読する。

○ 表現の工夫を実感させるために、ペアで交互に読ませたり、数人に代表で音読させたり

した後、聞いたり、音読したりした感想をまとめさせる。

○ まとめたものを発表させ、一人一人の感じ方の違いに気付かせる。

※ ペアや三々五人のグループで感想を伝え合った後、学級全体に広げてもよいでしょう。

評価 物語の表現の工夫に気付き、それについて自分の考えをまとめている。(読工)

4 本時の学習の振り返りをして、次時の学習について見通しをもつ。

○ ワークシート⑤で自己評価をさせる。

○ ワークシート①で次時から感想文を書くことを確かめさせる。

物語を読んで、感想文を書こう。
めあて

書き方のくふうを見つけよう。

●感想文を書くための三つのコツ



コツ一 物語の内ようを読み取る。

コツ二 「初め」「中」「終わり」の組み立てで書く。

コツ三 思ったことや感じたことを表す言葉を使う。

●「やさしい心」の書き方の工夫

コツ二 「初め」「中」「終わり」の組み立てで書く。

初め	本を読んだきっかけ
中	物語の内容 感じたことや考えたこと
終わり	自分の考え

コツ三 思ったことや感じたことを表す言葉を使う。

*むねがわくわくしてきた。

*元気が出てきた。

*強く思った。

*〇〇という気持ちが出てきた。

【6 / 9 時間目 指導略案】 使用するワークシート「三つのお願い」⑥
本時のねらい

〔資料〕「やさしい心」を読ませ、書き方の工夫（構成の工夫や感想の言葉）に気付かせる。

1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確かめる。

○ 感想文を書くために、**コツ二** 「初め」「中」「終わり」の組み立てで書く。こと、

コツ三 思ったことや感じたことを表す言葉を使う。ことを押さえる。

※ 提示物 **コツ二**・**コツ三** に印を付けると児童にも分かりやすいと思います。

○ ワークシート⑥を配り、記名させる。

○ 本時は、〔資料〕「やさしい心」を感想文のモデルとして読み、書き方の工夫を見付けることを知らせる。

2 「やさしい心」を読み、書き方の工夫を見付ける。

○ 教科書五十五ページの手引きを読ませる。

○ 「やさしい心」を読ませ、「初め」「中」「終わり」にどんなことが書いてあるかを発表させ、まとめた内容をワークシート⑥に書かせる。

○ 「やさしい心」の中の「思ったことや感じたことを表す言葉」を見付け、ワークシート⑥に書き抜かせる。

※ **コツ三** については、教科書五十六ページ下段（感想を書くとき、使ってみよう言葉）、教科書（上）百三十二・百三十三ページを参考にさせましょう。

※ これらのページを印刷してラミネートし、いつでも使えるようにしておくとう便利です。

○ 書いたことを発表させる。

※ 教科書五十六ページの上段（書き出しの例）を読ませ、書き出しの工夫にも着目させます。

評価 感想文を読み、書き方の工夫を見付けようとしている。（関）

3 本時の学習の振り返りをして、次時の学習について見通しをもつ。

○ ワークシート⑥で自己評価をさせる。

○ 次時から二時間かけて感想文を書くことを伝え、ワークシート①で確かめさせる。

物語を読んで、感想文を書こう。

めあて

組み立てを考え、自分の考えをはっきりさせて「初め」「中」を書こう。

●感想文を書くための三つのコツ

コツ一 物語の内よきを読み取る。

コツ二 「初め」「中」「終わり」の組み立てで書く。

コツ三 思ったことや感じたことを表す言葉を使う。

●次の手順で、自分の考えをはっきりさせよう。

①「初め」 最も強く感じたことを一文で表そう。

- ・友達って、本当に大切だ。
- ・ノビーの短気なところは、自分と似ている。
- ・アメリカの子どもとにているところやちがうところがあってもいい。
- ・自分もお母さんから、ノビーのママみたいな言葉を言われたことがある。

②「中」 特に物語のどの部分にかかわりがあるか、その部分に線を引こう。

③「中」 具体的にどのように感じたか、なぜそう考えたのか、くわしく書こう。

【7 / 9 時間目 指導略案】 使用するワークシート「三つのお願い」⑦
本時のねらい

自分の感想に理由や事例を挙げ、構成を考えて書くことができるようにする。

1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。

- 感想文を書くために、「コツ二」「初め」「中」「終わり」の組み立てで書く。（ことを押さえる。）
- ※ 提示物「コツ二」に印を付けると児童にも分かりやすいと思います。
- ※ 前時に学習した〈資料〉「やさしい心」の書き方の工夫にも触れます。
- ワークシート⑦を配り、記名させる。
- 本時は、組み立てを考え、自分の考えをはっきりさせて感想文の「初め」「中」を書くことを知らせる。

2 感想文の「初め」「中」を書く。

- 教科書五十五ページの手引きを読ませ、手順に沿って「初め」「中」を書かせる。
- ① 最も強く感じたことを一文で書かせる。「初め」
 - * 前時までの学習で使ったワークシートを利用して、その中から書きたいことを想起させます。
 - * 書き出せない児童には、教科書五十五ページ上段〈例〉を参考にさせます。
- ② ①が、物語のどの部分に関わりがあるか、本文に線を引かせる。「中」
 - * ②では、必ず叙述を根拠にさせるようにします。
- ③ ②を引用したり短くまとめたりしながら、具体的にどのように感じたのか、なぜそう考えたのかを、ワークシート⑦に詳しく書かせる。「中」

評価 構成を考えて感想文を書いている。（書イ）

理由や事例を挙げて、感想文を書いている。（書ウ）

3 本時の学習の振り返りをして、次時の学習について見通しをもつ。

- ワークシート⑦で自己評価をさせる。
- 次時は、感想文の「終わり」を書き、推敲し仕上げることを伝え、ワークシート①で確かめさせる。

物語を読んで、感想文を書こう。

めあて

組み立てを考え「終わり」を書き、表げんをくふうしてしあげよう。

●感想文を書くための三つのコツ

 <p>コツ一 物語の内ようを読み取る。</p>
 <p>コツ二 「初め」「中」「終わり」の組み立てで書く。</p>
<p>コツ三 思ったことや感じたことを表す言葉を使う。</p>

④「終わり」 読んだ後の自分の考えを書こう。

- ・読んで、自分の何が、どう変わったかを書く。
- ・これからどうしたいかを書く。
- ・「初め」「中」とつながり合うように書く。

●読み返し、まちがいや、よりよくできるところを直そう。

- ・まちがった文字を直す
- ・書き落とした文字を付け加える。
- ・もつとよく伝わるように表げんをくふうする。
- ・自分の気持ちにぴったりの表げんを考える。
- ・同じ言い方ばかりにならないようにする。
- ・+「思いました」 +「考えました」
- ・書いた内ように合った題名を付ける。
- ・書きだしをくふうする。

【8 / 9 時間目 指導略案】 使用するワークシート「三つのお願い」⑧・原稿用紙2 本時のねらい

構成を考え、表現を工夫して感想文を書くことができるようにする。

- 1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確かめる。
 - 感想文を書くために、「コツ二」「初め」「中」「終わり」の組み立てで書く。こと、

○ コツ三 思ったことや感じたことを表す言葉を使う。ことを押さえる。

※ 提示物「コツ二・コツ三」に印を付けると児童にも分かりやすいと思います。

○ ワークシート⑧を配り、記名させる。

○ 本時は、「初め」「中」とつながり合うように組み立てを考えて「終わり」を書き、表現を工夫して感想文を仕上げることを知らせる。

2 感想文の「終わり」を書く。

○ 教科書五十五ページ下段の手引きを読ませ、「終わり」に書く内容を押さえる。

○ 自分のワークシート⑦「初め」「中」を読ませ、「終わり」を書かせる。

※ 書き出せない児童には、六時間目までの学習をまとめたワークシートを利用して、その中から書きたいことを想起させます。

3 推敲し、仕上げる。

○ ワークシート⑦・⑧に書いたことを基に、原稿用紙2に書かせる。

※ 題名や氏名を書く場所については、一斉指導します。（「原稿用紙の使い方」プリント参照）

※ 今回初めて感想文の書き方を学習していることとあらずじを入れていないことから、字数は全体で四百〜八百字程度とします。

・「初め」百〜二百字程度 ・「中」二百〜四百字程度 ・「終わり」百〜二百字程度

※ 「初め」「中」「終わり」の内容が、つながるように書かせます。

※ 書いたら全体を読み返させ、推敲させる。

※ ワークシート⑧にある推敲の項目を拡大したものを提示し、確かめさせます。

※ 感想文を書くための三つのコツを使っているかについても確かめさせます。

評価 「初め」「中」とつながり合っている内容を書いている。（書イ）

感想を表す言葉を使って、表現を工夫している。（言イ（オ））

4 本時の学習の振り返りをして、次時の学習について見通しをもつ。

○ ワークシート⑧で自己評価をさせる。

○ 次時は、友達と感想文を読み合い交流することを伝え、ワークシート①で確かめさせる。

物語を読んで、感想文を書こう。

めあて

友達と感想文を読み合い、よいところを見つけよう。

●感想文を書くための三つのコツ

 <p>コツ一 物語の内ようを読み取る。</p>
 <p>コツ二 「初め」「中」「終わり」の組み立てで書く。</p>
 <p>コツ三 思ったことや感じたことを表す言葉を使う。</p>

【よいところ見つけのポイント】

- ・ 題名
- ・ 書きだし
- ・ 引用
- ・ 体験
- ・ 思ったことや感じたことを表す言葉
- ・ 理由
- ・ 例

●友達と読み合おう

- ① グループで全員分読み合う。
- ② 読んだら、よいところをふせんに書く。(一人分ずつ)
- ③ ①②が終わったら、②のふせんをもらい、自分のワークシートにはる。
- ④ 友達の感想を読む。

●初めに書いた感想と読みくらべよう

- (1) 初めに書いた感想と読みくらべる。
 - (2) 学習をふり返る。
- + 題名のくふう
 - + 書きだしのくふう
 - + 組み立て「初め」「中」「終わり」
 - + 感想の言葉
 - + 感想の深まり

【9 / 9 時間目 指導略案】 使用するワークシート「三つのお願い」⑨
本時のねらい

感想文を読み合い相互評価させ、初発の感想と比べ学習を振り返らせる。

1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確かめる。

- 感想文を書くための三つのコツを使って感想文を書いたことを確かめる。
- ※ 三つのコツの提示物に印を付けると児童にも分かりやすいと思います。
- ワークシート⑨を配り、記名させる。
- 本時は、完成した感想文を読み合い、お互いの感想文のよいところを見つけることを知らせる。

2 友達と感想文を読み合い、相互評価する。

- 付箋を配布し、ワークシート⑨の【よいところ見つけのポイント】を読ませる。
- ※ 【よいところ見つけのポイント】(ワークシート⑨を拡大したもの)を提示します。
- ※ 間違い探しではなく、よいところを探そう伝えます。
- ① 四人程度のグループで、読み合わせる。
- ② 読んだら、付箋に感想を書かせる。
- * 大きめの付箋に一人分ずつ書かせます。記名もさせます。
- ③ 友達が書いた付箋を自分のワークシート⑨に貼らせる。
- ④ 友達の感想を読み、自分の感想文のよさに気付かせる。
- ※ 時間があれば、グループ以外の友達の感想文を読む時間をとるとよいでしょう。

評価 友達の感想文を読み、それに対する感想を書こうとしている。(関)

理由を挙げて、友達の感想文のよさについてまとめている。(読工)

3 自分が書いた初発の感想と読み比べる。

- 文章量の増加だけでなく、感想の深まりや、題名や書き出しの工夫、使用語彙の増加などに着目させる。
- 読み比べての感想をワークシート⑨に書かせる。
- ※ 読み比べての感想は、単元全体の学習の振り返りにもなります。
- ※ 時間があれば、何人かに発表させます。

4 本時の学習の振り返りをする。

- ワークシート⑨で自己評価をさせる。

めあて

学習の見通しをもとう。

○ 学習の流れをたしかめましょう。

時 月日	学 習 内 容
①	学習の見通しをもつ。
②	物語の内ようを読み取る。
③	三つのお願いをくらべながら、物語の内ようを読み取る。
④	会話や行動から登場人物のせいかくを読み取る。
⑤	表げんのくふうに目を向けて読む。
⑥	書き方のくふうを見つける。
⑦	組み立てを考え、自分の考えをはっきりさせて「初め」「中」を書く。
⑧	組み立てを考え「終わり」を書き、表げんをくふうしてしあげる。
⑨	友達と感想文を読み合い、よいところを見つける。

○ 感想文を書くための三つのコツを考えましょう。

コツ一	物語の()を読み取る。
コツ二	「初め」「中」「終わり」の()で書く。
コツ三	思ったことや感じたことを表す()を使う。

○ 今日の学習をふり返りましょう。

(よくできた・・・◎) できた・・・○) もう少し・・・△)

学習の見通しをもつことができましたか。	◎	○	△
---------------------	---	---	---

めあて

物語の大体の内ようを読み取ろう。

○ 「だれが」「どんなことをしたか」「をとらえましょう。

・いつ、どこでの話ですか。

(時)

(場所)

・だれが出てきますか。(登場人物)

★

★

★

・何が起こりましたか。(出来事)

・どうなりましたか。(結末)

○ 今日の学習をふり返りましょう。

(よくできた・・・◎) できた・・・○) もう少し・・・△)

物語の大体の内ようを読み取ることが
できましたか。

◎

○

△

めあて
三つのお願いをくらべながら、物語の内ようを読み取ろう。

○ 三つのお願いを次の表にまとめましょう。

	どんなお願いか	結末はどうなったか
3つ目		
2つ目		
1つ目		

○ 三つのお願いをくらべて、にているところやちがっているところを考えましよう。

にているところ	ちがっているところ

○ 今日の学習をふり返りましょう。

(よくできた・・・◎) できた・・・○ もう少し・・・△)

三つのお願いをくらべながら、物語の内ようを読み取ることができましたか。

◎

○

△

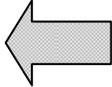
めあて
会話や行動から登場人物のせいかくを読み取ろう。

○ 会話や行動から登場人物のせいかくを考えましょう。

ママ	ビクター	ノービィ	
			せいかく
			会話や行動

めあて
会話や行動から登場人物のせいかくを読み取ろう。

○ 「ノービィ」とにた体験はありませんか。一、二文で書きましょう。また、そのときあなたはどう思ったのかを書き足しましょう。

「ノービィ」とにた体験	←	そのときどう思ったのか
		
----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- -----		

○ 今日の学習をふり返りましょう。

(よくできた・・・◎) できた・・・○) もう少し・・・△)

会話や行動から登場人物のせいかくを想像し、自分とくらべながら読むことができましたか。

◎ ○ △

めあて

表げんのくふうに目を向けて読もう。

○ 物語の表げんのくふうについて考えましょう。

この物語は、だれの目線で書かれていますか。

地の文が、()

()によって語られている。

どんな感じがしますか。

----- ----- ----- ----- -----

○ ノービイのせいかくが表れるように、音読してみましょう。

どんな感じがしましたか。

----- ----- ----- -----

○ 今日の学習をふり返りましょう。

(よくできた・・・)◎ (できた・・・)○ (もう少し・・・)△ ()

物語の表現のくふうについて、自分の考えをまとめることができましたか。

◎	○	△
---	---	---

めあて

書き方のくふうを見つかけよう。

○ 感想文「やさしい心」を「初め」「中」「終わり」に分け、どんなことが書いてあるかをまとめましょう。

初め	中	終わり

○ 文章の中で、思ったことや感じたことを表している言葉を見つけ、次の中に書きぬきましょう。

<p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>

○ 今日の学習をふり返りましょう。

(よくできた・・・◎) できた・・・○ (もう少し・・・△)

「やさしい心」を読んで、書き方のくふうを見つけることができましたか。

◎ ○ △

めあて

組み立てを考え、自分の考えをはっきりさせて「初め」「中」を書こう。

○ 「初め」の書きだしを考えましょう。

○ 「初め」の書きだしを考えましょう。

①物語を読んで、最も強く感じたことを一文で書く。

○ 「中」の部分を考えましょう。

②③最も引き付けられたところ、気になったところを引用したり短くまとめたりしながら、どう感じたり考えたりしたかをくわしく書く。

○ 今日の学習をふり返りましょう。

(よくできた・・・◎) できた・・・○) もう少し・・・△)

理由や例をあげて、感想文を書くことができましたか。

◎

○

△

めあて

組み立てを考え「終わり」を書き、表げんをくふうしてしあげよう。

○ 「終わり」の部分を考えましょう。

④読んで、自分の何が、どう変わったかや、これからどうしたいかを書く。

↓

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

○ 書いたら全体を読み返し、まちがいや、よりよくできるところを見つけたら、直しましょう。

- ・ まちがった文字を直す。
- ・ 書き落とした文字を付け加える。
- ・ もっとよく伝わるように表現をくふうする。
- ・ 自分の気持ちにぴったりの表現を考える。
- ・ 同じ言い方ばかりにならないようにする。
- ・ 書いた内ように合った題名を付ける。
- ・ 書きだしをくふうする。



読み返して直したら、
原こう用紙に清書し
ましょう。

○ 今日の学習をふり返りましょう。

(よくできた・・・◎) できた・・・○) もう少し・・・△)

三つのコツを使って、感想文を書くことができましたか。

◎

○

△

めあて

友達と感想文を読み合い、よいところを見つけよう。

【よいところ見つけのポイント】

- ・ 題名はくふうされているかな？
- ・ どんな書きだしかな？
- ・ 本文を引用したり短くまとめたりしている部分はあるかな？
- ・ 自分の体験が書かれているかな？
- ・ 思ったり感じたりした言葉は、くふうして使っているかな？
- ・ 具体的にどのような感じたのか、なぜそう思ったのか、くわしく書いてあるかな？



この4つのます目に
友達から書いてもらった
ふせんをはりましょう。



	 <p>この4つのます目に 友達から書いてもらった ふせんをはりましょう。</p>

【初めに書いた感想と読みくらべて】

○ 今日の学習をふり返りましょう。

(よくできた・・・◎) できた・・・○ もう少し・・・△

友達の感想文を読んで、よいところを見つけることができましたか。

◎

○

△